

# 研究科・専攻の教育研究上の目的及び基本方針

## 工学研究科 建築学専攻 博士前期課程

### 教育研究上の目的

建築学専攻の博士前期課程は、「様々な機能と諸技術、そして美とを調整し、それらの最善の総合化を図ることによって、人間の多様な営みにとって使いやすく、安全で快適、かつ感動を呼ぶ持続可能な空間や形態・環境を創造すること」という『建築の目的』を達成できる人材として、先端的知識を要求される問題にも直ちに参加できる技術者、専門家の育成を目的とする。

建築学専攻の博士後期課程は、「様々な機能と諸技術、そして美とを調整し、それらの最善の総合化を図ることによって、人間の多様な営みにとって使いやすく、安全で快適、かつ感動を呼ぶ持続可能な空間や形態・環境を創造すること」という『建築の目的』を高度に達成できる人材として、研究者・高度専門技術者の育成を目的とする。

### 教育目標

本学の教育目標及び本専攻の教育研究上の目的等を踏まえ、工学研究科建築学専攻博士前期課程では、先端的知識を要求される建築の諸分野の問題に、積極的に立ち向かえる専門的技術者の育成を教育の最終目標としています。

これからのグローバル化した国際社会における新しい建築学分野では、益々人と環境との関係をどう築いて行くのか大きなテーマとなります。こうした動きの中で、新しい時代を切り開いていく人材としては、専門的な建築分野の知識だけではなく、多様な興味や関心で育まれる広い知識や教養とともに新しい諸技術を総合化していく能力が必要とされます。また、自らの力を発揮し、社会で自らの役割を担うためには、広く社会と関わることが求められ、そのためには、コミュニケーション能力も必要とされます。こうした自己を表現するための多様な能力の基礎を研究と教育を通して学ぶとともに、修了後も時代の変化に対応していくために、自らを鍛えていく姿勢が必要とされます。

このように本課程では、教育並びに研究を通して、様々な基礎能力を携え、日本そして世界に貢献することのできる専門家として自立できる人材の育成を教育目標として定めます。

### ディプロマ・ポリシー

#### (学位授与の方針)

本専攻博士前期課程では、本専攻のカリキュラムにおいて所定の単位を修得し、修士論文又は特定課題についての研究成果の専攻内規に則った審査及び最終試験に合格と判定された者は、以下に掲げる目標を達成していると判定され、修士(工学)の学位が授与されます。

1. 自立した良識ある市民としての判断力と実践力
  - (1) 多様化する社会に関する幅広い視野と教養を身につけている。
2. 国際的感性とコミュニケーション能力
  - (1) 研究の成果を日本語や英語で発表し、論文としてまとめる能力を身につけている。
  - (2) 論理的な思考力とプレゼンテーション能力を身につけている。
3. 時代の課題と社会の要請に応えた専門的知識と技能
  - (1) 建築分野の急速な技術進歩へ適応できる能力を身につけている。
  - (2) 建築分野の産業的及び学術的観点から重要とされる課題を解決できる研究推進能力を身につけている。

### カリキュラム・ポリシー

#### (教育課程編成・実施の方針)

本専攻博士前期課程では、「様々な機能と諸技術、そして美とを調整し、それらの最善の総合化を図ることによって、人間の多様な営みにとって使いやすく、安全で快適、かつ感動を呼ぶ持続可能な空間や形態・環境を創造すること」という『建築の目的』を達成できる人材として、「先端的知識を要求される問題にも直ちに参加できる技術者、専門家を育成」するため、以下に示す方針でカリキュラム・ポリシーを設定しています。

## 1. 教育課程の編成・実施

- (1) 持続可能な空間・環境を創造するために、①主として安全で持続可能な空間を創造するための建築構造に関する専門分野、②主として使いやすく感動を呼ぶ持続可能な空間・環境を創造する、あるいは町並み等の建築文化財を後世に伝えるための建築デザインに関する専門分野、③主として快適で持続可能な空間・環境を創造するための建築環境に関する専門分野の中から、各自の専門及び専門以外の関連分野に関する高度の知識を教授します。
- (2) 教員の指導の下に、社会的観点及び学術的観点から重要な研究課題に取り組むことで、積極的に社会と関わり合い、様々な機能と諸技術、美とを調整、総合化を主体的に図ることができる能力を育成します。

## 2. 教育の方法と評価

- (1) TA(ティーチング・アシスタント)に就くことで、教育能力を高める経験を積む機会を用意しています。
- (2) 単位制度の実質化を図るため、成績評価を厳格化するとともに成績評価の方法及び基準を明確化しシラバスに記載しています。
- (3) 中間審査において、研究の進捗を評価します。
- (4) 国内外の学会発表において研究成果を発表することで、学外の社会と関わりながら研究をまとめる能力を涵養します。
- (5) 修士論文と、その内容に関する口頭発表を審査することで、修士として必要な能力を身につけているか評価します。

## アドミッション・ポリシー (入学受入の方針)

### 1. 大学院教育によって培う能力

本専攻の博士前期課程は、「様々な機能と諸技術、そして美とを調整し、それらの最善の総合化を図ることによって、人間の多様な営みにとって使いやすく、安全で快適、かつ感動を呼ぶ持続可能な空間や形態・環境を創造すること」という『建築の目的』を達成できる人材として、先端的知識を要求される問題にも直ちに参加できる技術者、専門家を育成します。

### 2. 本専攻の求める入学者

- (1) 建築計画、建築環境・建築設備、建築法規、建築構造、建築施工の各分野における十分な基礎学力を有する人
- (2) 様々な機能と諸技術、そして美とを調整、総合化を主体的に図ることのできる人
- (3) 使いやすく、安全で快適、かつ感動を呼ぶ持続可能な空間や形態・環境を創造することのできる人
- (4) 研究成果を学会に発表したり、設計競技に応募したり、あるいは町に出て町の人たちと力を合わせて町づくりに参加する等、積極的に社会と関わり合いを持つ意欲のある人
- (5) 一級建築士、構造設計一級建築士、設備設計一級建築士、一級施工管理技師、技術士等の資格修得を目指す人

### 3. 大学までの能力に対する評価(選抜方法)

本専攻博士前期課程では、基礎学力の修得度、意欲と熱意をもとに選抜します。

- (1) 基礎学力は、建築計画、建築環境・建築設備、建築法規、建築構造、建築施工の各分野、および英語に関し判断します。
- (2) 基礎学力の修得度は主として筆記試験を通じ、意欲と熱意は口述試験を通じ、判断します。
- (3) 学部での学修成績によっては、筆記試験を免除します。

# 工学研究科 建築学専攻 博士後期課程

## 教育研究上の目的

建築学専攻の博士前期課程は、「様々な機能と諸技術、そして美とを調整し、それらの最善の総合化を図ることによって、人間の多様な営みにとって使いやすく、安全で快適、かつ感動を呼ぶ持続可能な空間や形態・環境を創造すること」という『建築の目的』を達成できる人材として、先端的知識を要求される問題にも直ちに参加できる技術者、専門家の育成を目的とする。

建築学専攻の博士後期課程は、「様々な機能と諸技術、そして美とを調整し、それらの最善の総合化を図ることによって、人間の多様な営みにとって使いやすく、安全で快適、かつ感動を呼ぶ持続可能な空間や形態・環境を創造すること」という『建築の目的』を高度に達成できる人材として、研究者・高度専門技術者の育成を目的とする。

## 教育目標

本学の教育目標及び本専攻の教育研究上の目的等を踏まえ、工学研究科建築学専攻博士後期課程では、先端的知識と技術を要求される建築の諸分野で、率先して新しい建築分野を切り開いていける高度な研究者・専門技術者の育成を教育の最終目標としています。

これからの新しい建築学分野では、益々人と環境との関係をどう築いて行くのかが大きなテーマとなります。こうした動きの中で、新しい時代を切り開いていく人材としては、建築分野の専門知識だけではなく、多様な興味や関心で育まれる広い知識と教養をもとに新しい諸技術を総合化し、応用していく能力が必要とされます。また、自らの力を発揮し社会で自らの役割を担うためには、広く社会と関わることが求められ、そのためには、高度なコミュニケーション能力もプレゼンテーション能力も必要であり、国際化社会にあつては、語学力も必要とされます。こうした自己を表現するための多様な能力は、在学中の研究・教育だけでは足りず、むしろ、修了後も高度な研究者・専門技術者としての立場を維持するために、絶えず自ら研鑽していくという強い姿勢が求められます。

このように本課程では、教育並びに調査・研究を通して、自らを高め続けることで、日本そして世界に貢献できる高度な研究者・専門技術者として自立できる人材の育成を教育目標として定めます。

## ディプロマ・ポリシー

### (学位授与の方針)

本専攻博士後期課程では、本専攻のカリキュラムにおいて所定の単位を修得し、博士論文についての研究成果の専攻内規に則った審査及び最終試験に合格と判定された者は、以下に掲げる目標を達成していると判定され、博士(工学)の学位が授与されます。

1. 自立した良識ある市民としての判断力と実践力
  - (1) 多様化する社会に関する幅広い視野と教養を身につけている。
2. 国際的感性とコミュニケーション能力
  - (1) 研究の成果を日本語や英語で発表し、論文としてまとめる能力を身につけている。
  - (2) 論理的な思考力とプレゼンテーション能力を身につけている。
3. 時代の課題と社会の要請に応えた専門的知識と技能
  - (1) 建築分野の急速な技術進歩へ適応できる能力を身につけている。
  - (2) 建築分野の産業的及び学術的観点から重要とされる課題を見出し、これを解決できる研究推進能力を身につけている。

## カリキュラム・ポリシー

### (教育課程編成・実施の方針)

本専攻博士後期課程では、上記の『建築の目的』を達成できる人材として、「研究者・高度専門技術者を育成」するため、以下に示した方針でカリキュラム・ポリシーを設定しています。

1. 教育課程の編成・実施
  - (1) 美しく安全で快適な建築空間の創造・都市や地域におけるゆたかな生活環境の探求と改善・建築文化の創造と継承等をすすめる人材を育成するのに必要な学術的知識を、①主として安全で持続可能な空間を創造するための建築構造に関する専門分野、②主として使いやすく感動を呼ぶ持続可能な空間・環境を創造する、あるいは町並み等の建築

文化財を後世に伝えるための建築デザインに関する専門分野、③主として快適で持続可能な空間・環境を創造するための建築環境に関する専門分野の中から、各自の専門に関する高度な最先端の学術的知識を教授します。

(2) 自主性を大切にしつつ、教員の助言の下で、様々な機能と諸技術、美とを調整、総合化を主体的に図ることができるよう、社会との結びつきを重視しながら研鑽を積みます。

(3) 研究成果を学会に発表する、設計競技に応募する、あるいは町に出て町の人たちと力を合わせて町づくりに参加し、町並み等の建築文化財を後世に伝える活動を行う等、実社会の専門技術者と対等に競り合う経験を持ちます。

## 2. 教育の方法と評価

(1) TA（ティーチング・アシスタント）に就くことで、教育能力を高める経験を積む機会を用意しています。

(2) 単位制度の実質化を図るため、成績評価を厳格化するとともに成績評価の方法及び基準を明確化しシラバスに記載しています。

(3) 予備審査において、研究の進捗を評価します。

(4) 国内外の学会発表において研究成果を発表することで、学外の社会と関わりながら、他の研究者と討議する能力を涵養します。

(5) 英語で学術論文を作成することで、研究の成果を日本語だけでなく英語でまとめる能力を涵養します。

(6) 博士論文と、その内容に関する口頭発表を審査することで、博士として必要な能力を身につけているか評価します。

## アドミッション・ポリシー (入学受入の方針)

### 1. 大学院教育によって培う能力

建築学専攻の博士後期課程は、「様々な機能と諸技術、そして美とを調整し、それらの最善の総合化を図ることによって、人間の多様な営みにとって使いやすく、安全で快適、かつ感動を呼ぶ持続可能な空間や形態・環境を創造すること」という『建築の目的』を高度に達成できる人材として、研究者・高度専門技術者を育成します。

### 2. 本専攻の求める入学者

(1) 建築計画、建築環境・建築設備、建築法規、建築構造、建築施工の各分野における高度な学力を有する人

(2) 自ら新たな問題を発掘し、それを解決する意欲を持つ人

(3) 研究者ならびに高度専門技術者として建築の各専門分野で活躍することを目指す人

### 3. 博士前期課程までの能力に対する評価（選抜方法）

本専攻博士後期課程では、高度な専門学力の修得度、意欲と熱意をもとに選抜します。

(1) 高度な専門学力は、修士論文と専修科目を中心に、口述試験を通じ判断します。熱意と意欲は、同様に口述試験を通じ判断します。

(2) 語学力は、英語の筆記試験を通じ判断します。

# **Graduate School of Engineering, Course of Architecture and Building Engineering**

## **Master's Program**

### **Diploma Policy (Policy on the conferring of degrees)**

Persons who have earned the prescribed credits under the curriculum of the Course's Master's Program, and whose submitted Master's thesis or outcomes of special themes were screened and who passed final examinations in accordance with the rules of the Course, will be judged as having achieved the following objectives and will be granted a Master's degree (Engineering).

#### **1. Judgment and practical ability as an independent citizen of sound sense**

(1) Have acquired a wide-ranging perspective and education concerning an increasingly diverse society.

#### **2. International sensibilities and communication capabilities**

(1) Have acquired capabilities to present research outcomes in Japanese or English and to organize outcomes into research papers

(2) Have acquired logical thinking ability and presentation capabilities

#### **3. Expert knowledge and skills to address the issues of the age and the demands of society**

(1) Have acquired capabilities to adapt to rapid technological progress in the field of architecture

(2) Have acquired capabilities for advancing research that is able to resolve issues deemed important from industrial and academic perspectives in the field of architecture

### **Curriculum Policy (Policy on organization and implementation of curricula)**

In order to develop engineers and experts who can participate directly in problems that demand leading-edge knowledge, as human resources who can achieve "the goals of architecture," i.e., "creating sustainable spaces, forms, and environments that are evocative, comfortable, safe, and easy to use within the diverse activities of people, by coordinating varied functions and technologies with beauty while striving for the best possible integration of these," the Course's Master's Program has established a curriculum policy under the guidelines shown below.

#### **1. Organization and implementation of curricula**

(1) In order to create sustainable spaces and environments, the Master's Program teaches high-level knowledge related to students' specialties and related fields outside the specialties, from within 1) fields of expertise related to architectural structures primarily for the creation of safe and sustainable spaces; 2) fields of expertise related to architectural design primarily for the creation of easy-to-use, evocative, sustainable spaces and environments and for handing down townscapes and other architectural cultural assets to later generations; and 3) fields of expertise related to architectural environments primarily for creating comfortable and sustainable spaces and environments.

(2) The Master's Program develops the capabilities to actively engage with society and to independently work toward synthesis and harmonization of diverse functionalities, technologies, and aesthetics, by undertaking research themes of importance from societal and academic perspectives under the guidance of academic staff.

#### **2. Educational methods and evaluation**

(1) Through TA (Teaching Assistant) positions, the Master's Program offers opportunities for gaining

experience that enhances capabilities as an educator.

- (2) In order to effectuate a credits system, the Master's Program syllabus outlines clear and strict methods and criteria for the evaluation of academic performance.
- (3) The Master's Program evaluates the progress of research through interim screening.
- (4) The Master's Program cultivates capabilities to organize research while interacting with society outside the University, through the presentation of research outcomes at domestic and overseas academic presentations.
- (5) The Master's Program evaluates whether students have acquired the capabilities necessary for a Master, through the screening of the Master's thesis and oral presentations on its content.

## **Admissions Policy**

### **1. The capabilities fostered by a graduate school education**

The Course of Architecture and Building Engineering Master's Program develops engineers and experts who can participate directly in problems that demand leading-edge knowledge, acting as human resources who can achieve "the goal of architecture," i.e., "creating sustainable spaces, forms, and environments that are evocative, comfortable, safe, and easy to use within the diverse activities of people, by coordinating varied functions and technologies with beauty while striving for the best possible integration of these."

### **2. Entrants sought by the Course**

- (1) Persons who possess adequate basic scholarship in the fields of architectural planning, built environments and building services engineering, architectural codes, structural engineering in architecture and building works
- (2) Persons who can work proactively to coordinate and integrate varied functions and technologies with beauty
- (3) Persons who can create sustainable spaces, forms, and environments that are evocative, comfortable, safe, and easy to use
- (4) Persons who possess the desire to take an active involvement in society, including reporting the achievements of research at academic meetings, taking part in design competitions, and joining hands with urban residents to take part in community development
- (5) Persons who aspire to acquire qualifications as *Ikkyu kenchikushi*, *Kozo sekkei ikkyu kenchikushi*, *Setsubi sekkei ikkyu kenchikushi*, *Ikkyu seko kanri gishi*, *Gijutsushi*, etc.

### **3. Evaluation of capabilities through university (selection method)**

The Course of Architecture and Building Engineering Master's Program performs selection on the basis of degree of basic scholarship, desire, and enthusiasm.

- (1) Basic scholarship will be judged on the basis of ability in English and the fields of architectural planning, built environments and building services engineering, architectural codes, structural engineering in architecture and building works.
- (2) Degree of basic scholarship will be judged primarily on the basis of written examinations, and desire and enthusiasm will be judged on the basis of oral examinations.
- (3) Written examinations will be waived in accordance with undergraduate academic performance.

## **Graduate School of Engineering, Course of Architecture and Building Engineering**

### **Doctoral Program**

### **Diploma Policy (Policy on the conferring of degrees)**

Persons who have earned the prescribed credits under the curriculum of the Course's Doctoral Program, and whose submitted Doctoral thesis or research outcomes were screened and who passed final examinations in accordance with the rules of the Course, will be judged as having achieved the following objectives and will be granted a Doctor's degree (Engineering).

1. Judgment and practical ability as an independent citizen of sound sense

(1) Have acquired a wide-ranging perspective and education concerning an increasingly diverse society.

2. International sensibilities and communication capabilities

(1) Have acquired capabilities to present research outcomes in Japanese or English and to organize outcomes into research papers

(2) Have acquired logical thinking ability and presentation capabilities

3. Expert knowledge and skills to address the issues of the age and the demands of society

(1) Have acquired capabilities to adapt to rapid technological progress in the field of architecture

(2) Have acquired capabilities for advancing research that is able to discover and resolve issues deemed important from industrial and academic perspectives in the field of architecture

### **Curriculum Policy (Policy on organization and implementation of curricula)**

In order to develop researchers and high-level expert engineers as human resources who can achieve "the goals of architecture" noted above, the Course's Doctoral Program has established a curriculum policy under the guidelines shown below.

1. Organization and implementation of curricula

(1) The Doctoral Program teaches academic knowledge necessary for the development of human resources who will engage in the creation of beautiful, safe, and comfortable architectural spaces, the pursuit and improvement of enriched living environments in cities and regions, and the creation and transmission of architectural culture, etc. It also teaches high-level, advanced academic knowledge related to students' specialties from within 1) fields of expertise related to architectural structures primarily for the creation of safe and sustainable spaces; 2) fields of expertise related to architectural design primarily for the creation of easy-to-use, evocative, sustainable spaces and environments and for handing down townscapes and other architectural cultural assets to later generations; and 3) fields of expertise related to architectural environments primarily for creating comfortable and sustainable spaces and environments.

(2) Students devote themselves to study with an emphasis on connections to society, to become able to independently work toward synthesis and harmonization of diverse functionalities, technologies, and aesthetics under the advice of academic staff and with importance placed on autonomy.

(3) Students take part in presentations of research outcomes at academic meetings, design competitions, and on-site town development in cooperation with residents, while also acting to hand down townscapes and other architectural cultural assets to future generations, and otherwise gaining experience in competing at an equal level with actual working expert engineers.

2. Educational methods and evaluation

(1) Through TA (Teaching Assistant) positions, the Doctoral Program offers opportunities for gaining experience that enhances capabilities as an educator.

(2) In order to effectuate a credits system, the Doctoral Program syllabus outlines clear and strict methods and criteria for the evaluation of academic performance.

- (3) The Doctoral Program evaluates the progress of research through preliminary screening.
- (4) The Doctoral Program cultivates capabilities to engage in discussions with other researchers while interacting with society outside the University, through the presentation of research outcomes at domestic and overseas academic presentations.
- (5) The Doctoral Program cultivates capabilities to organize research outcomes in not only Japanese but also English, through the writing of academic research papers in English.
- (6) The Doctoral Program evaluates whether students have acquired the capabilities necessary for a Doctor, through the screening of the Doctoral thesis and oral presentations on its content.

## **Admissions Policy**

### **1. The capabilities fostered by a graduate school education**

The Course of Architecture and Building Engineering Doctoral Program develops researchers and advanced expert engineers as human resources who can achieve "the goal of architecture," i.e., "creating sustainable spaces, forms, and environments that are evocative, comfortable, safe, and easy to use within the diverse activities of people, by coordinating varied functions and technologies with beauty while striving for the best possible integration of these."

### **2. Entrants sought by the Course**

- (1) Persons who possess advanced scholarship in the fields of architectural planning, build environments and building services engineering, architectural codes, structural engineering in architecture and building works
- (2) Persons who possess a desire to independently uncover and resolve new problems
- (3) Persons who aspire to engage in activities in expert fields of architecture as researchers and advanced expert engineers

### **3. Evaluation of capabilities through Master's program (selection method)**

The Course of Architecture and Building Engineering Doctoral Program performs selection on the basis of degree of advanced expert scholarship, desire, and enthusiasm.

- (1) Advanced expert scholarship will be judged on the basis of oral examinations, centered on the Master's thesis and major subjects. Desire and enthusiasm will similarly be judged on the basis of oral examinations.
- (2) Language ability will be judged on the basis of written examinations in English.